

今年春以降、朝鮮学校に「高校無償化」制度を適用するかどうかが大きな政治問題になっている。「朝鮮学校は北朝鮮の対日工作機関だ」「国民の税金を朝鮮学校につぎ込むべきではない」などの適用反対論のために、四月実施のこの制度から朝鮮学校はいったん除外されることになり、文部科学省や与党民主党内で検討・議論がなされるとともに、各種のマスコミからネット空間までさまざまな意見が飛び交っている。この原稿が活字になる頃には決着を見ている可能性があるが、ここではこの問題をめぐってあまり議論されていない基本的なレベルの問題を考えてみよう。

まず、学校教育の「無償化」について。「無償化」の政策は、日本が批准している国際人権規約や子どもの権利条約が中等教育（日本の高等学校は後期中等教育に該当する）を無償とするための適当な措置をとることを締約国に求めていることが、一つの根拠となっている。「無償化」が国際条約に合わせる形での国内措置であるとするなら、これらの条約では少数者の権利を保障すべきことが定められていることを見落とすべきではないだろう。

しかし、今年実施された「高校無償化」は、実際には税制改正に伴う措置であると説明されている。16歳未満の子どもに対する扶養控除と、16 19歳の子どもに対する扶養控除の上乗せ分が廃止されたため、小学校から高校までの学校に子どもを通わせている親の税負担が増えることになるが、その見返りとして中学生までには「子ども手当」の支給、高校生には「無償化」が実施されることになったのである。税負担という側面から考えると、子どもを日本の学校に通わせているか、外国人学校に通わせているかにかかわらず、「無償化」の対象としなければ不公平になる。「朝鮮学校に国費をつぎ込むべきでない」という反対論は、日本に住む外国人も税金を払っていることを意識的に無視しているように思われる。外国人も納税者であるという観点から無償化問題を考える必要があろう。



ところで、「高校無償化」といわれる問題は、公立学校の場合は文字通り無償化であるが、それ以外の学校については、「就学支援金」として生徒一人あたり月9900円が学校に支給されるという制度である（所得に応じて加算がある）。つまり、完全な無償化ではないため、私立学校や外国人学校に子どもを通わせる保護者の負担は依然として残ることになる。学校経費の一部を「えさ」にして、教育内容に国家が介入したり、しぼりをかけたりすること自体が不当なことといわねばならない。

次に、朝鮮学校に対する日本政府の扱いを歴史的にとらえることが必要である。1945年以前、日本による朝鮮支配の時期においても、日本に住む朝鮮人による民族教育が夜学などの形態でなされていたが、政府は戦時期にこれらを弾圧して、朝鮮人の子どもを日本の学校に通わせることとした。戦後、復活した朝鮮人の学校は、東西冷戦の開始とともに、政府、アメリカ占領軍によって再び弾圧され、1949年後には多くの学校が閉鎖、財産没収の処分を受けた。1950年代から70年代に再建された朝鮮学校は、都道府県では各種学校の認可を受けることになったが、政府は各種学校としても認可すべきでないという見解を表明し、さらに学校教育法に設けられた専修学校の規定では、「我が国に居住する外国人を専ら対象とするものを除く」として、朝鮮学校などの外国人学校を学校制度から排除してきたのである。

20年ほど前まで日本にある外国人学校のほとんどが朝鮮学校であり、政府の外国人学校政策は事実上、朝鮮学校政策であったが、このような朝鮮学校への抑圧と排除の歴史が、2003年の大学受験資格問題、今回の「無償化」問題を生み出すこととなったといえる。

「無償化」がどのように決着するかにかかわらず、植民地支配の時代、東西冷戦の時代に在日朝鮮人の民族教育に対してとってきた政策を根本的に改めること、日本にある外国人学校を制度的にきちんと位置づけ、外国人の子ども達に「学びの場」を保障すること 私たちは現在、これらの課題に向き合っているのである。

* 作成に於いて「高等学校無償化の適用を求める全国朝鮮高級学校学生連絡会」ホームページを参考にしました。

発行：民族教育権利擁護阪神地区協議会（2010.10.2）		編集：朝鮮総連尼崎東・西国際部	
連絡先：在日本朝鮮人総連合会(朝鮮総連)			
尼崎東支部(尼崎市昭和通 1-14-2 T066-481-6534)		尼崎西支部（尼崎市稲葉元町 3-2-8 T06-6416-8444）	
西宮支部(西宮市芦原町 4-20 T0798-65-2222)		伊丹支部（伊丹市伊丹 2-1-14 T0727-82-2590)	
宝塚支部(宝塚市安倉西 2-4-10 T0797-86-0432)		川西支部（川西市小戸 2-3-7 T0727-59-2573)	

高校無償化、朝鮮学校にも差別なく適用を



神戸朝鮮高級学校（1948年4月設立）
神戸市垂水区上高丸1丁目5番地1号

【卒業生から】Nam HyoJun(現代美術作家)、千里馬啓徳(プロボクシング)、金永基(湘南ベルマーレ)、金成圭(週刊少年ジャンプ編集者)、金泰泳(格闘家正道会館副館長・尼崎支部部長)、文世一(京都大学大学院経済学研究教授)、以下氏名略、愛媛大学准教授、東北大講師、大阪市立博物館、朝鮮大学校教員、京都交響楽団指揮者、韓国蔚山市立交響楽団常任指揮者、劇団四季、宝塚歌劇舞台美術作家、兵庫社会福祉協議会職員、看護師（神戸大付属病院・神戸赤十字病院・神戸市立医療センター・明石医療センター・近畿中央病院、県立病院等、朝・日同時通訳可看護師として活躍）、村田製作所、会社経営、医師、弁護士・司法書士・公認会計士・税理士多数。

高校無償化 デヴィ・スカルノ

（東京出身.インドネシア故スカルノ大統領元夫人）

ブラジル、インド、アメリカ、フランス、スエーデン、イラン、パキスタン、中国、韓国等々、全支給されるそうです。



「拉致」は確かに許せるものではありませんし、あってはならないことです。でも国家元首がすでに公式に謝罪したのです。両国が過去を許しあうことのみが、平和をもたらすのではないのでしょうか？ そうでないとパレスティナとイスラエルのような最悪な関係になってしまいます。

橋本大阪府知事は、朝鮮学校を視察。日本の学校と全く変わらない教育の状況を見た後、「総連」との手を切るなら高校無償化してもよいなどと発言。また、教室に掲げてあった金日成主席と金正日総書記の写真を外すよう促しました。橋本知事にも日本と朝鮮半島の過去の歴史を知った上で色々と考えて頂きたい。

金日成主席は、日本に連れ去られた日本にいる自国の国民のために自国が苦しいにもかかわらず、多額の送金をして日本の色々な所に学校を建設、そして教育に必要な費用を絶えず送ってきたのですから、朝鮮の人にとっては、神様のような存在であり、誇りなのです。

日本はその昔、朝鮮の人々を迫害し、また、今日までも迫害を続ける気なのではないでしょうか。これは民族的なアイデンティティーに対する侮辱であり、問題です。チマチョゴリを着た女学生を襲って、チマチョゴリをハサミで切るなんて最低です。私は日本人として恥づかしいです。

昔、貧しかった日本は、45万人以上の貧農の子女達を政府が夢の土地を与えると南米に移民させました。移民先の土地は荒涼とした石ころだらけの土地であったり、道もなく、鎌で生え茂る植物を切て、暗い森を進まなければならなかった土地もありました。彼らは、そこで差別と貧困にあえぎまし

日本人が他国で苦しんだことを、なぜあえて隣国の日本で生まれ育った人達に対してするのですか？ 移民先の南米で、日本人の移民3世、4世が日本人であるがためにその国の人間に、襲われることはありません。皆さん、どう思われますか？ 公平なご意見をお聞かせ下さい。（本人のブログより抜粋）

【ロンドン＝橋本聡】ジュネーブにある国連の人種差別撤廃委員会は16日夜（日本時間17日未明）、日本人の権利状況についての見解をまとめた報告書を公表し、朝鮮学校を高校無償化の対象から除外する動きについて「懸念」を表した。

国際的な差別問題の専門家

朝鮮学校の高校無償化除外

国連委「差別的」と懸念

18人をつくる同委員会は人種差別撤廃条約に基づき、加盟国の人権状況を審査。日本の審査は2001年以来9年ぶりとなる。

報告書は、在日コリアンや中国人の子弟の学校が「公的支援や補助金などの面で差別的扱いを受けている」と指摘。朝鮮学校の除外問題につ

いても「子どもたちの教育に差別的な影響を及ぼす行為」の一つとして言及した。これらを踏まえ、教育の機会を差別なく与えるよう日本政府に勧告した。

委員会はまた、被差別部落の問題について「就職や結婚などで差別が続いている」と

機関がないと批判。インターネット上の差別的な書き込みを防ぐことを含む幅広い対策を政府に勧告した。

一方、北海道のアイヌの人たちを政府が先住民族と認めただことは歓迎したが、アイヌ民族の代表が地位向上の施策



朝日新聞 2010.3.17(夕刊1面)

高校無償化法案の対象学校に関する日本弁護士連合会声明

今国会に提出された、いわゆる高校無償化法案（「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律案」）について、朝鮮民主主義人民共和国に対する制裁措置の実施等を理由に、朝鮮学校を対象校から外すか否かが、政府内で検討されている。

しかし、本法案の趣旨は、「高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を図り、もって教育の機会均等に寄与する」（法律案の理由）ことにある。教育を受ける機会、政治・外交問題に左右されてはならず、朝鮮学校に通う子どもたちについても変わることなく保障されるべきものである。

また、朝鮮学校については、教育課程等の確認ができないとの考え方も報道されているが、朝鮮学校の教育課程に関する情報は、各種学校の認可を受ける際に必要に応じて提出され、朝鮮学校自らがホームページ等でも公開しているのであるから容易に調査可能であり、現に、ほとんどの大学は朝鮮学校卒業生に入学資格を認めている。

朝鮮学校に通う子どもたちが本法案の対象外とされ、高等学校、専修学校、インターナショナル・スクール、中華学校等の生徒と異なる不利益な取扱いを受けることは、中等教育や民族教育を受ける権利にかかわる法の下での平等（憲法第14条）に反するおそれが高く、さらには、国際人権（自由権・社会権）規約、人種差別撤廃条約、子どもの権利条約が禁止する差別にあたるものであって、この差別を正当化する根拠はない。

当連合会は、高校無償化法案の適用において朝鮮学校が不当に排除されることのないように強く求めるものである。

2010年3月5日日本弁護士連合会 会長 宮崎 誠



カラスの学校 神戸朝鮮初中級学校（初級部1年生の朝鮮語授業から）

カラスはカアカアと鳴きます
なのにホケキョと鳴けば
みんな へんなカラスだなと思うでしょ
朝鮮人なのにウリマル（朝鮮語）を知らなくて朝鮮人と言えるかな
だから皆さんは朝鮮の学校に来たのですよ
今日からいっしょにウリマル（朝鮮語）をならいましょう。



高知県の車さん（神戸朝鮮高級学校卒業）は、高知に朝鮮学校がないために愛媛県の学校に子どもを通わせた。娘さんは親の元を離れて初級、中級を卒業し現在、広島の高級学校で寄宿舎生活をしている。娘さんは朝鮮大学校（東京都小平市）への進学を希望している。東京に行き就職し結婚となればすでに初級部の時に嫁に出したようなもの、でも車さん「日本でいくらお金があっても、朝鮮人としての心を買うことはできない。どんなに寂しくても朝鮮学校に 」カラスの子どもはやはりカラスとして生きるべきと言います。（在日朝鮮人「歴史・人権月間」2008年リーフレットから）

チング（親友）を求めて 鄭玉珠

私は朝鮮高校に息子を通わせる在日コリアン 3 世のオモニ（母親）です。毎月かかる学費は、ほぼフルタイムで働く私の手取り月収の半分以上。所得税をはじめ、各種の納税義務を果たしているにもかかわらず、地方自治体レベルの参政権さえ与えられていない悲しい現実から考えても、朝鮮高校こそ無償化してほしいと心から願います。

通学定期代は月額7千円。片道1時間半もかけて通わせる理由は、同じルーツをもつ在日コリアンのチングと巡りあえる唯一の場所だからです。私には日本人のチングもたくさんいます。将来日本に永住するであろう息子にも、国籍を問わずたくさんの友に巡りあってほしい。

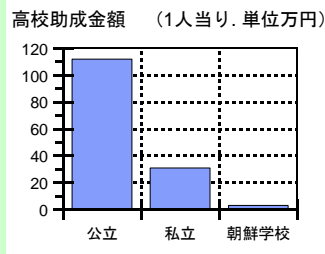
その時、自分の言葉で自己のルーツを語れる人であってほしい。悲しい過去の歴史や、大人たちの無用な政治的対立に飲みこまれることなく、同じ日本社会の中で、お互いを尊重しあいながら、仲良くしてほしいと思うのです。

今の朝鮮高校は映画「パッチギ」の世界では、ありません。今を生きる私たちが在日コリアンは、パンクパー五輪で金メダルをとった金妍児選手と同じくらい、浅田真央選手の悔し涙と笑顔に感動します。ひとりでも多くの日本の方々に知っていただきたいと思います。（朝日新聞『ひととき』2010.3/16より、抜粋）



「高校無償化」朝鮮学校「排除」は二重差別

朝鮮高級学校の父母も納税の義務は日本人同様に果たしている。右のグラフは公立高校（公財政支出教育費）、私立・朝鮮学校（私立学校経常費補助）の年間比較（2006,2007年）である。既に朝鮮高級学校は公立学校はもとより私立学校に比べても補助金は、おおよそ 1/10 である。にもかかわらず、朝鮮高級学校が高校無償化から排除されるならばさらに格差は広がり、「私学補助（1/10）+高校無償化排除」による二重差別となる。



子どもたちから学ぶ権利を奪うということ

日本の学校法がどうなっているのか？また「拉致」をめぐる外交上、朝鮮民主主義共和国との関係がどうなのか？また、1月29日に閣議決定された高校無償化法案の議論の詳細がどうなっているのか？などなど、場合によっては難しい議論になる微妙な話題かも知れません。

しかし、少し話を横において考えると、この21世紀社会において、いかなる事情があろうとも、子どもたちから学ぶ権利を奪うということとはあり得ないことではないかと思うのですが、みなさまいかがでしょうか？

阪神・淡路大震災 被災地NGO協働センター 代表 村井 雅清

朝鮮学校に兵庫県が独自助成 井戸知事会見

『神戸新聞』3月16日

兵庫県は16日、朝鮮学校に対し、県独自の授業料軽減補助金を新たに支給する方針を明らかにした。私立高校生への授業料助成を朝鮮学校を含めた外国人学校に拡充し、2010年度予算案に盛り込んだ。

政府が朝鮮学校を高校無償化の対象とすべきか議論していることについて、井戸敏三知事は同日の会見で「対象から外すべきではない」と述べた。

県は公立高校授業料無償化に伴い、従来から実施していた私立高校生への授業料補助の対象を10年度から拡充。専修学校や外国人学校なども対象に含めた。県単独の支給額は私立高校生の2分の1とし、世帯収入に合わせて1万5千～6万円を予定している。

井戸知事は「朝鮮学校とほかの外国人学校と差を設ける必然性は、本県としてはない」とし、「拉致問題の解決と引き替えにするような事柄ではない」と述べた。県教育課によると、国が朝鮮学校を支給対象から外しても、県単独の補助金分は支給する予定という。

県内唯一の神戸朝鮮高級学校（神戸市垂水区、272人）の許敬教頭は「県の判断には、生徒も保護者も勇気づけられる。大学の入学資格がある朝鮮学校をもっと分かってほしい」と話している。

